



題字：杭瀬福成園

笑顔で安心できる場所として

すこしづつ日常が戻るのではと期待もありますが、まだまだ油断はできないですね。福成会としても厚生労働省から発信されている『新しい生活様式』を基に日々、感染予防や安全対策についています。引き続き対策を行いながら、笑顔で安心できる場を提供し続けていきたいと思います。

またこういう時でも、こういう時だからこそ気づけたこともあります。ふとした瞬間の幸せ、ふんわりおもいだし笑い、ふだん何気ない時に感じる喜びを福成会広報誌「ふふふ」にのせ、皆様にお届けいたします。



新型コロナウィルス感染予防へのご理解、ご協力、そして暖かいお心遣い本当にありがとうございました!!

地域の方から「みんな元気に過ごせていますか」と声をかけ気にかけていただいたり、マスクや消毒液も頂きました。利用者、家族からの手紙やねぎらいの声をいただきました。いただいた手紙は掲示し、スタッフの励みになりました。【清流園】



ご家族から色とりどりの手作りマスクを約100枚いただきました。マスクを忘れたり紙マスクでは耳が痛くなる人などに使用させていただきました。布地や耳ゴムにはやわらかい素材が使われており、使う人を思いやる気持ちを感じました。ありがとうございました。【塚口福成園】

さわり製品作成のボランティアの方々から利用者とスタッフの全員にマスクの寄付をしていただいたり、利用者の家族から「マスク足りていますかー?」や「マスクをまつばで使って下さい」と温かいお言葉をたくさんいただきました。【サポートセンターまつば】

こんな
新たな試みや
新たな気づきも
ありました!!

VRをレンタルし、バーチャルの世界を疑似体験しました。レジ接客・校則・誰に相談する?など、8項目のプログラムがあり、面接と自己紹介は採点で盛り上りました。面接体験で85点の高得点に大喜び。でも、自己紹介で30点だったことは内緒。【チャレンジ・コヤリバ】

物づくりが得意なスタッフが、対面になっても飛沫を防ぐことのできる『ついたて』を作成しました。食事中でも圧迫感のないよう、中は透明なシートを使用することで、対面しても相手の様子が見れ、食事を撮っていただけています。【杭瀬福成園】



食堂の配膳口など行列ができる部分に足型を設置したり、椅子の間隔を開けて座るなど「ソーシャルディスタンス」を意識し、利用者にも必要性を説明してきました。今では「ソーシャルディスタンス」と言うだけで「はっ」と気づきあわてて人との間を空ける利用者も出てきました。【塚口福成園】



縫製ボランティアの方が手作りの布マスクを120個ほど寄付してくださいました、素敵でかわいい布マスク、心まであったかくなり思わず「ふふふ」となりました。たくさん作っていただきありがとうございます。【杭瀬福成園】



ご家族から「利用できてよかった」などのお声をいただき「不安もあったが受け入れてきて良かった!」と感じました。同時に「利用者、家族の“ひと休み”の為にも感染者を出してはいけない!」と感じ、現在も感染対策を徹底しています。【ショートステイぶちるぱ】

【ショートステイぶちるぱ】

あいあい潮江分場で毎週木曜日に行っている地域販売に来て下さったお客様から、手指用消毒スプレーをいただきました。皆さま大変な状況の中、私たちのことを想ってくださる方がいることに励まっています。【あいあい】

自粛期間中は少人数だったため、今まで苦手だった作業をじっくり丁寧にマンツーマンでレクチャーされ、みるみるうちに上達していく!さん。スタッフが褒めると、「まだ自信ないです」と言いながらも、満面の笑みが嬉しさを物語っていました。【チャレンジ・コヤリバ】



ご家族やスタッフから手作りマスクをいただき、利用者へ配布をしました。利用者のみなさまも大変喜ばれ、事業所への通所や就労先にマスクを着けて行かれています。ありがとうございました。【セントラル】

福成会の農園活動

田能の里芋

【塚口福成園】

本年度も尼崎都市農地再生協議会の「田能の里芋づくり」に参加しています。当分の間は畑に水を張る為、草抜き等の作業はできないので畑の水量や異常が無いかの点検を定期的に行ってます。今年の出来栄えも楽しみにしていてください。



野菜生活

【清流園】

自粛期間中、園芸を始める方が増えたそうですね。園芸用品は売り切れ続出だったとか…。清流園も今年は例年より多い種類の野菜を植え育てています。日々の生長を楽しみながら、収穫後にはどう調理して食べるか今から楽しみです!



福成会 次年度採用者向けの見学説明会を開催しました!

見学説明会の開催については、新型コロナの影響があり、中止やWEB説明会も検討しました。しかし、参加希望者の方の思いを尊重し、感染対策を十分に行い開催しています。参加された方からは、「実際に見学することで、事業所の雰囲気を感じられた」「気になったこと等が色々と聞けたので良かった」と、好評の声をいただきました。

また6月からは、令和3年度卒業予定の学生向けの「1day仕事体験」を実施しています。学生の方の今後の進路を考える中、福祉を通じて新しい発見をしていただけるように福成会は積極的に受け入れをしていきます。



山木勝信【福成会総務部】

「1day 仕事体験」はコチラから
↓↓↓↓



//すっかり仲間。中途採用のスタッフにもご注目!!//



R1.4よりアルバイト
R1.10より正規スタッフ

活動で公園へ出掛ける時やレクリエーションで普段とは違う利用者の表情を見るとほっこりしています。



R2.2より正規スタッフ

運転に慣れていないが練習を兼ねて運転。助手席に乗っていた先輩が教習所の先生のようになっていた。



H30.10よりアルバイト
R1.10より正規スタッフ

尼うえるフェアの取りまとめを行う私。納品の際に買おう!と思った商品が売れる喜びと悲しみをいつも味わう。笑

藤井
佐代

『尼うえる』開催決定!!

「商品を売る人も得る人も幸せに(welfare)」と想いを込めた「尼うえるフェア」市内の障害者施設の手づくり商品を集め、8月より尼崎市役所にて毎月販売します。



手づくり雑貨やクッキーなどさまざまな商品があるので、皆さまのお気に入りのものを見つけて…ご来客をお待ちしております。



会期：2020年8月18日(火)

時間：10:00～15:00

場所：尼崎市役所南館1F

各事業所からの『ふふふ』

清流園

近くの郵便局さんが利用者の描いた絵を飾ってくれています。このあいだ、お伺いした際に「この前の絵とても好きです! 次も楽しみにしています!」と声をかけていただきました。少し照れながらお礼を言い、ハッピーな気持ちで事業所に戻りました。

杭瀬福成園

グループホームへ手伝いに行くため、一度事業所に立ち寄り荷物を置きに行くと、さっくまでソファで横になっていた利用者さんが更衣室に来て「何しに来たん?」って言われたので、その利用者さんに会いに来ましたって言うと、照れ臭い顔して思わずなごみました。

あいあい

利用者のご自宅に電話した際、留守番中のご本人がでることがありました。話の途中でも「ぱいぱーい」と電話を切ろうとされることがありました。が、元気な様子が伺えたことと初めての電話でのやりとりが新鮮でした。

サポートセンターまつば

1日の終わりに日中にあった利用者・スタッフの出来事の中から素敵に感じた内容を、休憩場所にあるカレンダーに毎日貼り出させていただいている。利用者から何気ない一言に癒されたという内容が多く出ました。

塚口福成園

給料をためれば買えると一緒に考え、「買ってきました!」と見せてくれた新しいリュックには…何か所もマジックで大きく名前が書かれていました。大事すぎて無くさないようにした結果の様です。

チャレンジ・コヤリバ

ラジオ体操後に「8時だヨ! 全員集合」のオープニングダンスが流行中の自立訓練です。自肃明けから作業スペースのレイアウト変更や倉庫のDIYについて利用者と一緒に考えて実施しました。電気ドリルでコンクリートに穴をあける感触が快感になってきた今日この頃です。

尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり

障害者の方の就労のお手伝いしているのですが、工場で勤務しているAさんの所へ訪問した時、訪問先で「こんにちは」とたくさん言いすぎ、職場に戻ってもうっかり「こんにちは。」と挨拶しちゃいました。

ショートステイぶちるぽ

ぶちるぽのお風呂、すごく大きいんです。そのためか「温泉」と呼ばれている方が何人かいらっしゃいます。一人でゆったり浸かれる空間で、あまりの気持ち良さに出るのを嫌がられる方も(笑)。上がった後のホッとした表情や笑顔を見ると「ふふふ」となります。

セントラル

平屋で二件並びのホームクラン(男性)とホームクレール(女性)が完成しました。利用者の生活の様子や楽しい情報はホームページにもアップしていくたいと思いますので是非ご覧ください。



編集後記

広報誌がリニューアルしたことで、「カラーでいい感じ!」「読みやすくなった!」とご好評いただいております。ありがとうございます。まだリニューアルして間もない広報誌「ふふふ」ですが、皆さんに見て頂ける記事を作成してまいりたい思いで、記者になりきり記事を集めてまいりたいと思います。よろしくお願ひいたします。

